

LEGEND L10

500 Series Rackmount Chassis for 10 Modules with Advanced Audio Routing

LEGEND L6

500 Series Portable Chassis for 6 Modules with Advanced Audio Routing and Rackmount Kit

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (14"TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキングプラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたら、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもののみをお使いください。

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

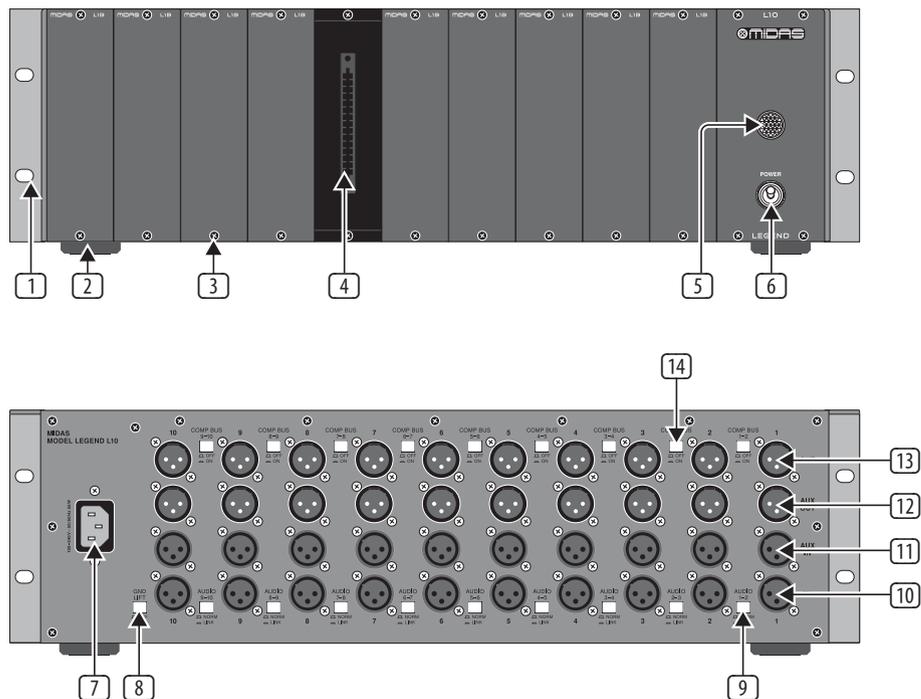
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Oberheim, Auratone, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

LEGEND L10/L6 コントロール

JP

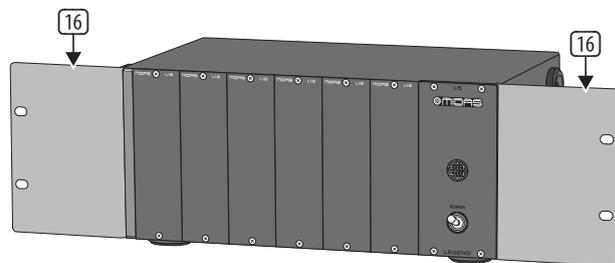
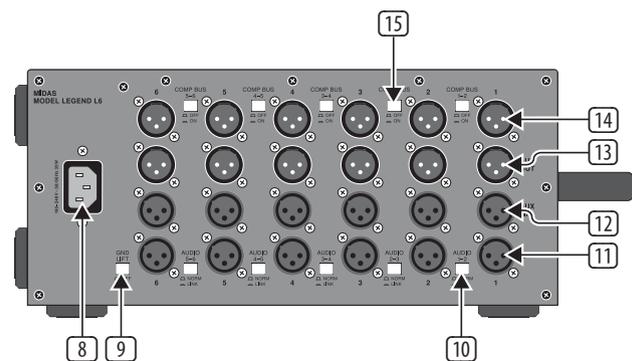
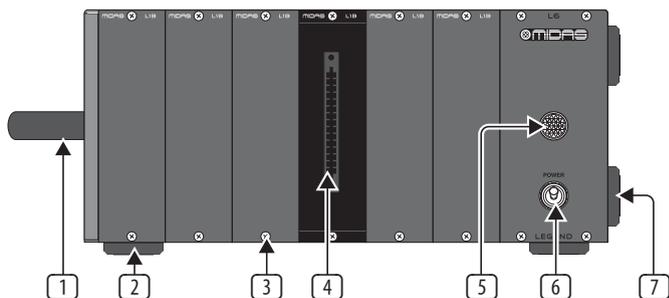


ステップ 2: コントロール

- ① **ラックイヤー** – これらの固定ラックイヤーにより、L10 を 19 インチ 3U スペースにラックマウントできます。
- ② **足 (水平)** – これらの 4 フィートにより、L10 をテーブルまたはその他の平らな面に水平に置くことができます。L10 がラックマウントされていて、下に空きラックススペースがない場合は、これらの脚をシャーシの下部に固定しているネジを慎重に外して、これらの脚を取り外す必要があります。
- ③ **ネジ穴** – 上部と下部のフロントレールにあるこれらの穴は、500 シリーズモジュールを L10 の所定の位置に固定するために使用されます。また、L10 の空きスペースをカバーするためにブランクプレート (L1B) を固定するためにも使用されます。
- ④ **モジュールコネクタ** – これらのマルチピンコネクタは、L10 に接続されている 500 シリーズモジュールの背面コネクタに接続するために使用されます。これらのコネクタのピン配列は、オーディオ入力と出力、電源、ファンタム電源、およびグランド用の 500 シリーズモジュールの標準規則に従います。例外は、Aux 入力および出力接続用です。このクイックスタートガイドの 19 ページに示されているコネクタのピン配列を比較して、使用するモジュールの互換性を確認してください。
- ⑤ **電源インジケータ** – このランプは、AC 電源が投入され、L10 電源スイッチがオンになると点灯します。これは、L10 内部電源が機能しており、500 シリーズモジュールに電力を供給していることを示しています。
- ⑥ **電源スイッチ** – これを上位置に設定して、L10 をオンにします。500 シリーズモジュールへのすべての接続が確立された後にこれを実行します。L10 の電源を切るには、スイッチを下の位置に設定します。
- ⑦ **AC 入力** – 付属の電源コードはこの AC 入力に接続します。L10 には、100 VAC~240 VAC、50 / 60Hz の AC 主電源電圧を受け入れることができる内部スイッチング電源があります。接続する前に、フロントパネルの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
- ⑧ **アースリフト** – このスイッチは、オーディオハムが存在する状況でオーディオグラウンドを除去するために使用されます。
- ⑨ **オーディオスイッチ** – このスイッチを使用すると、1 つのモジュールの出力を次のモジュールの入口にリンクして、モジュールのオーディオチェーンを作成できます。たとえば、最初のモジュールがマイクプリアンプで、AUDIO 1-2 が押された場合、プリアンプからの出力は、EQ などのモジュール 2 の入力に送信されます。AUDIO 2-3 を押し、EQ 出力はコンプレッサーなどのモジュール 3 に送られます。この例では、IN2 と IN3 の XLR 入力が切断されており、このモジュールチェーンのオーディオは IN1 で入力され、OUT3 から出力されます。
- ⑩ **に** – このバランス XLR オーディオ入力は、楽器、マイク、ラインレベル出力などの外部機器のオーディオ出力に接続します。次に、オーディオ信号は 500 シリーズモジュールの入口に渡されます。
- ⑪ **AUX 入力** – このバランス XLR オーディオ入力は、モジュールにこの機能がある場合に使用されます。
- ⑫ **AUX OUT** – このバランス XLR オーディオ出力は、モジュールにこの機能がある場合に使用されます。
- ⑬ **でる** – このバランス XLR オーディオ出力は、モジュールの出力を外部機器のバランスオーディオ入力に送信します。オーディオ出力を次のモジュールの入口に直接送信する場合は、AUDIO スイッチを使用します。この場合、信号は内部で送信され、XLR バッチコードは必要ありません。
- ⑭ **COMP バス** – これらのスイッチは、ステレオまたはマルチチャンネルコンプレッサーアプリケーションで相互にリンクできるコンプレッサーに使用されます。特定のコンプレッサーのみがこの機能を備えており、現在の MIDAS 522 コンプレッサー / リミッターにはありません。

LEGEND L10/L6 コントロール

JP



ステップ 2: コントロール

- 1 **キャリングハンドル** - この便利なハンドルにより、L6を安全に輸送し、さまざまな場所に移動できます。
- 2 **足 (水平)** - これらの4つの足により、L6をテーブルまたはその他の平らな面に水平に置くことができます。L6がラックマウントされていて、下に空きラックスペースがない場合は、これらの脚をシャーシの下部に固定しているネジを慎重に外す必要があります。
- 3 **ネジ穴** - 上部と下部のフロントレールにあるこれらの穴は、500シリーズモジュールをL6の所定の位置に固定するために使用されます。また、L6の空きスペースをカバーするためにブラックプレート (L1B) を固定するためにも使用されます。
- 4 **モジュールコネクタ** - これらのマルチピンコネクタは、L6に接続されている500シリーズモジュールの背面コネクタに接続するために使用されます。これらのコネクタのピン配列は、オーディオ入力と出力、電源、ファンタム電源、およびグラウンド用の500シリーズモジュールの標準規則に従います。例外は、Aux入力および出力接続用です。このクイックスタートガイドの19ページに示されているコネクタのピン配列を比較して、使用するモジュールの互換性を確認してください。
- 5 **電源インジケータ** - このランプは、AC電源が投入され、L6電源スイッチがオンになると点灯します。これは、L6内部電源が機能しており、500シリーズモジュールに電力を供給していることを示しています。
- 6 **電源スイッチ** - これを上位位置に設定して、L6をオンにします。500シリーズモジュールへのすべての接続が確立された後にこれを実行します。L6の電源を切るには、スイッチを下位の位置に設定します。
- 7 **足 (垂直)** - これらの脚は、L6が垂直位置にあるときに使用されます。
- 8 **AC入力** - 付属の電源コードはこのAC入力に接続します。L6には、100 VAC-240 VAC、50/60HzのAC主電源電圧を受け入れることができる内部スイッチング電源があります。接続する前に、フロントパネルの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
- 9 **アースリフト** - このスイッチは、オーディオハムが存在する状況でオーディオグラウンドを除去するために使用されます。
- 10 **オーディオスイッチ** - このスイッチを使用すると、1つのモジュールの出力を次のモジュールの入口にリンクして、モジュールのオーディオチェーンを作成できます。たとえば、最初のモジュールがマイクプリアンプで、AUDIO 1-2が押された場合、プリアンプからの出力は、EQなどのモジュール2の入口に送信されます。AUDIO 2-3も押すと、EQ出力はコンプレッサーなどのモジュール3に送られます。この例では、IN2とIN3のXLR入力がか断断されており、このモジュールチェーンのオーディオはIN1で入力され、OUT3から出力されます。
- 11 **に** - このバランス XLR オーディオ出力は、楽器、マイク、ラインレベル出力などの外部機器のオーディオ出力に接続します。次に、オーディオ信号は500シリーズモジュールの入口に渡されます。
- 12 **AUX入力** - このバランス XLR オーディオ出力は、モジュールにこの機能がある場合に使用されます。
- 13 **AUX OUT** - このバランス XLR オーディオ出力は、モジュールにこの機能がある場合に使用されます。
- 14 **でる** - このバランス XLR オーディオ出力は、モジュールの出力を外部機器のバランスオーディオ入力に送信します。オーディオ出力を次のモジュールの入口に直接送信する場合は、AUDIO スイッチを使用します。この場合、信号は内部で送信され、XLR バッチコードは必要ありません。
- 15 **COMPバス** - これらのスイッチは、ステレオまたはマルチチャンネルコンプレッサーアプリケーションで相互にリンクできるコンプレッサーに使用されます。特定のコンプレッサーのみがこの機能を備えており、現在のMIDA522コンプレッサー/リミッターにはありません。
- 16 **ラックイヤー** - 付属のラックイヤーをL6の側面にねじ込んで、19インチ3Uのスペースにラックマウントできます。L6をラックに取り付けるには、下部の水平パネルの脚を取り外す必要があります。下にラックの空きスペースがない場合は、ラックの耳で覆われているため、ハンドルと他の4つの脚 (垂直) をそのままにしておくことができます。

LEGEND L10/L6 はじめに

ステップ 3: はじめに

1 L6 または L10 から電源コードを抜いた状態で、システムを構成するさまざまな 500 シリーズモジュールを取り付けます。2本のネジを使用して、L6 または L10 の前面の上部レールと下部レールに固定します。モジュールの説明を注意深く読んで、正しい操作を理解し、推奨される接続に従ってください。

2 L6 または L10 の空白スペースは、MIDAS L1B ブランクプレートを使用して埋めることができます。これらのプレートは、汚れ、ほこり、その他の物体がユニットに入るのを防ぎます。

3 すべての接続が完了し、適切なスイッチが背面パネルに設定されたら、付属の電源コードを L6 または L10 に接続します。

4 一部のマイクリアンプモジュールは、マイクに必要な場合に +48V のファンタム電源を提供します。一部のマイクやオーディオデバイスはファンタム電源によって恒久的に損傷する可能性があるため、48V ファンタム電源スイッチが正しく設定されていることに注意してください。

5 電源スイッチを上の方に位置に設定し、フロントパネルの電源ランプが点灯していることを確認します。これは、システムを使用する準備ができていることを示しています。

6 L6 と L10 には背面パネルのアースリフトスイッチがありますが、一時的な最後の手段としてのみ使用することをお勧めします。この一時的な対策を使用するのではなく、グラウンドループのハムなどの原因を注意深く調査して正しく排除する必要があります。

アースリフトスイッチは、常に存在するシャーシへの安全アース接続には影響しません。

技術仕様

LEGEND L10

コントロール	
力	フロントパネルスイッチとランプ
コンパス	リアパネルスイッチ、1-2、2-3、3-4、4-5、5-6、6-7、7-8、8-9、9-10
オーディオリンク	リアパネルスイッチ、1-2、2-3、3-4、4-5、5-6、6-7、7-8、8-9、9-10
グラウンドリフト	リアパネルスイッチ
入出力	
入力	10x バランス XLR
補助入力	10x バランス XLR
出力	10x バランス XLR
補助出力	10x バランス XLR
力要件	
AC 入力電圧	100~240 VAC、50~60 Hz、IEC 入力
出力電圧	3.2 A @ ±16V、300 mA @ +48 V (ファンタム電源)
消費電力	通常 55 W
物理的	
寸法 (H x W x D)	140 x 483 x 211 mm (5.5 x 19 x 8.3")
足なしの寸法 (H x W x D)	132 x 483 x 211 mm (5.2 x 19 x 8.3")
重量	4.9 kg (10.8 ポンド)

LEGEND L6

コントロール	
力	フロントパネルスイッチとランプ
コンパス	リアパネルスイッチ、1-2、2-3、3-4、4-5、5-6
オーディオリンク	リアパネルスイッチ、1-2、2-3、3-4、4-5、5-6
グラウンドリフト	リアパネルスイッチ
入出力	
入力	6x バランス XLR
補助入力	6x バランス XLR
出力	6x バランス XLR
補助出力	6x バランス XLR
電力要件	
AC 入力電圧	100~240 VAC、50~60 Hz、IEC 入力
出力電圧	3.2 A @ ±16V、300 mA @ +48 V (ファンタム電源)
消費電力	通常 35 W
物理的	
ハンドルと脚付きの寸法 (H x W x D)	140 x 349 x 211 mm (5.5 x 13.7 x 8.3")
ラックイヤー付き、脚なしの寸法 (H x W x D)	132 x 483 x 211 mm (5.2 x 19 x 8.3")
重量	4.4 kg (9.7 ポンド)

JP モジュールコネクタのピン配列

ピン番号	説明
1	シャーシ GND
2	出力 + (ホット)
3	補助出力 + (ホット)
4	出力 - (コールド)
5	オーディオ GND
6	コンプレッサーステレオリンク
7	補助出力 - (コールド)
8	入力 - (コールド)
9	補助入力 - (コールド)
10	入力 + (ホット)
11	補助入力 + (ホット)
12	PSU +16 V
13	PSU GND (0 V)
14	PSU - 16 V
15	PSU + 48V ファンタム電源

注意: すべての XLR 接続は有線です。ピン 1 = オーディオ GND、ピン 2 = + (ホット)、ピン 3 = - (コールド)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の

選択: ユニットの電源ソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くがないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

